

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型		日常生活の指導	①道徳「きみのところをつよくするほん」（主婦の友社） ②保健体育「改訂新版 体験を広げるこどものずかん9 からだとけんこう」（ひかりのくに） ③理科「きょうのそらはどんなそら」（大日本図書）		
目標	(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思) 身の回りの生活と自分との関わりについて関心をもち、感じたことを伝えようとする。 (学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法の確認、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①②③	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	26
1 学期授業時数					26
2 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①②③	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	30
2 学期授業時数					30
3 学期	「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など 「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など	①②	(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしたりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒に رفتりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。	学級 個別	14
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型		生活単元学習	①国語「あ、らいおん！だめだよ、だめだよ、くすぐっちゃ！」（大日本絵画） ②社会「子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー」（偕成社） ③地図「ドラえもんちずかん1 にっぽんちず」（小学館） ④数学「五味太郎の絵本10 かたち」（絵本館） ⑤理科「きょうのそらはどんなそら」（大日本図書） ⑥職業・家庭「くだもの」（福音館出版）		
目標	(知) 体験的な活動を通して、生活に必要な技能を身に付ける。 (思) 自分の気持ちを他者に伝えたり、自分の役割を果たしたりする。 (学) 人や物と関わりながら、学んだことを生活に活用しようとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ学期	「新しい友達や先生、中学部を知ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・Ⅰ学期の行事等について ・学校の使い方、ルールについて ・教室の場所について ・校内、校外の散歩など	①④	(知) 自分のことを学級の友達に紹介したり、友達のことを知ろうとすることができる。 校内の様々な教室に行き、雰囲気の違いなどを感じたり、気付いたりすることができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな行事等を発表しようとしたりする。 (学) 友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして一緒に過ごすことに期待感をもつことができる。	学級	6
	「新入生歓迎会」 ・準備、新入生歓迎会		(知) 中学部の先輩等について知ることができる。 (思) 自分のことを知ってもらうために、伝えようとするができる。 (学) 中学部の生活に期待感をもつことができる。	学部 学級	2
	「育てて食べようⅠ」 ・畑作り、夏野菜の苗植え、観察記録、収穫	④⑤⑥	(知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (思) 植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付くことができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	グループ 学級	9
	「中学部まつりをしよう」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		(知) 活動への見通しをもち、集団での簡単な役割を果たそうとすることができる。 (思) 自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達へ働き掛けたり、働き掛けてもらったりすることで楽しむことができる。	学年 グループ	7
	「Ⅰ学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、Ⅰ学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを発表しようとするができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
Ⅰ学期授業時数					26

2 学 期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について	①④	(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 自分が楽しみな行事等を発表しようとすることができる。 (学) 友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして2学期に期待感をもつことができる。	学級	1
	「中学部まつりをしよう」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店巡り、片付けなど		(知) 活動への見通しをもち、集団での簡単な役割を果たそうとすることができる。 (思) 自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達へ働き掛けたり、働き掛けてもらったりすることで楽しむことができる。	学年 グループ	4
	「運動会を頑張ろう！」 ・事前学習、事後学習など		(知) 運動会の競技内容や日付、練習日程等が分かり、見本を参考に招待状を作ることができる。 運動会で友達と協力して頑張ったことが分かる。 (思) 頑張りたいこと等を表現しようとするすることができる。 運動会で頑張ったことや感じたこと等を表現することができる。 (学) 運動会に向けて意欲的になったり、楽しみにしたりすることができる。 達成感を感じ、次の行事を頑張ろうとすることができる。	学級	6
	「不思議を見付けよう！」 ・自分や生命の誕生について ・体の仕組み		(知) 命の誕生や体の仕組み（内臓、筋肉、骨など）について知ることができる。 (思) 命の誕生や自分の成長、体の仕組みについて知り、自分なりの表現をすることができる。 (学) 命の大切さや体の仕組み、健康な生活に必要な事項に関心をもつことができる。	学級	5
	「地域について知ろう！」 ・身近な地域について ・地域の産業について	②③	(知) 校外学習のきまりを知り、集団生活の中での役割を果たすことができる。 (思) 地域のことについてまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 地域について興味や関心をもつことができる。	学級	5
	「チャレンジタイム！」 ・学級の実態に応じた指導 ・買い物学習 ・会の準備・運営 ・公共施設の学習 など		学級の実態に応じた指導目標	学年 類型	7
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、2学期の振り返り		(知) 感じたことや考えたことを発表しようとするすることができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
2学期授業時数					30
3 学 期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について		(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 自分が楽しみな行事等を発表しようとすることができる。 (学) 友達などに働き掛けたり、働き掛けてもらったりして3学期に期待感をもつことができる。	学級	1
	「育てて食べよう2」 ・畑作り、じゃがいもの種芋植え、観察記録	④⑤⑥	(知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちを表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (思) 植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や変化に気付くことができる。 (学) 葉などの匂い感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	学級	6
	「卒業生を祝おう！」 ・卒業生を送る会準備、卒業生を送る会		(知) 卒業する友達を知ることができる。 (思) 自分が卒業することを知ることができる。 (学) 卒業生を祝う気持ちをもちることができる。	学部 学級	2
	「校内で働く人にインタビューしよう」 【進路学習】 ・インタビューを行う人や日程について知る。 ・インタビューを行う。		(知) 校内で働いている人がいることについて、知ったり、興味・関心をもったりする。 (思) 自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 相手へ働き掛けたり、働き掛けてもらったりすることで気持ちを表現することができる。	学級	3
	「1年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会		(知) 感じたことや考えたことを発表しようとするすることができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学年へ意欲を高めることができる。	学級	2
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型		作業学習			
目標	(知) 製作を通して、物の有無が分かり、道具を扱うことが分かる。 (思) 製作を通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。 (学) 製作を通して、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「作業学習について知ろう」 ・作業学習の目的、内容の理解		(知) 作業学習がどんな学習か、体験を通して知ることができる。 (思) 体験を通して、自分ができそうなことや得意なことを発表することができる。 (学) 作業学習の体験を通して、今後の学習に期待感をもつことができる。	学級	1
	「作業を経験しよう1」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種類から一つを取り組む。それぞれの指導内容は、以下の通り。 本類型は年間を通して、2種目以上取り組むこととする。 【陶芸】 ・粘土を伸ばす、切り取る、整えるなど ・小皿・箸置き作り（成形、やすり掛け、色付け） ・ラッピング ・振り返り 【手工】 ・ミシンの使用 ・ビーズ通し、刺し子、ステンシルなど ・ランチョマット作り、雑巾作り ・振り返り 【クラフト】 ・牛乳パックを使用した紙すき（紙をちぎる、シュレッダーを掛ける、ミキサーの使用など） ・紙すきはがきへの装飾 ・紙を使用した作業 ・振り返り <共通> ・準備、片付け ・掃除		【陶芸】 (知) 粘土の感触を知ることができる。 粘土を触ったり、握ったり、押さえたりすることができる。 (思) 粘土を触ったときに、手指を動かしたり、握ったりしようとしてすることができる。 (学) 物を作る楽しさや完成した時の喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、じぶんから活動しようとしてすることができる。 【手工】 (知) 道具の名称や使い方を知ることができる。 ミシンの振動を感じるすることができる。 (思) ワッペンを貼る位置などを決めることができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとしてすることができる。 【クラフト】 (知) 教師と一緒に作業を体験することで、工程や道具の使い方を理解することができる。 紙や水、パルプなどに触れ、質感や温度などの違いを感じるすることができる。 (思) 制作する紙の色を選ぶことができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとしてすることができる。	学級 グループ	12
1 学期授業時数					13
2 学期	「作業を経験しよう2」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1」で選択した種目以外の一つを取り組む（作業内容は、上記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	15
2 学期授業時数					15

3 学 期	「作業を経験しよう3」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種 目から、一つを取り組む（作業内容は、上 記の内容と同様）		上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	4
	「中2・3の作業を見学しよう」 ・ 中学部第2・3学年の作業学習の見学を する。 ・ 中学部マーケットに参加する。		（知）見学等を通して、新しい作業学習やその内容を知ること ができる。 （思）見学を通して来年度やってみたい作業種目について考 え、発表することができる。 （学）見学を通して、来年度へ向けて期待感をもつことができ る。	学級	2
	「1年間で振り返ろう」 ・ 1年間で行った三つの作業種目について の頑張りを振り返る。		（知）これまで作ったものを見て、振り返ることができる。 （思）振り返りを通して、頑張ったこと等を考えたり、発表し たりすることができる。 （学）2年生からの作業学習に期待感をもつことができる。	学級	1
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 Ⅰ年生 重複A類型		音楽科	①おんがく☆☆☆(東京書籍)		
目 標	(知) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。				
	(思) 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。				
	(学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通 年	「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」 を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通した友達との関わり合い	①	(知) 曲名や曲想と、簡単な音楽のつくりについて気付き、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 (思) 音や音楽に興味をもって聴くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。 【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達の段階に応じた、日常生活に関連した曲 「茶つみ」(文部省唱歌) 「うさぎ」(日本古謡) 「ふじ山」(文部省唱歌) 「子もり歌」(文部省唱歌) 「さくらさくら」(日本古謡) ※ 1曲以上適切に取り扱うようにする。	グループ 学級	
	「校歌を知ろう」 (表現「歌唱」) ・本校の校歌の歌詞の理解と歌唱	①	(知) 校歌に使われている特徴的な言葉に気付き、自分の歌声に注意を向け、教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思) 校歌の旋律を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 校歌を斉唱する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	1
Ⅰ 学 期	「リズムに親しもう！」 (表現「音楽づくり」) ・特徴的なリズムと旋律を意識した歌唱 ・簡単な拍打ちやリズム打ちの練習 ・リズムや速度を意識した演奏 ・身の回りの音、簡単なリズム・パターンを取り入れた音楽づくり	①	(知) 声や身の回りの様々な音や、音のつなげ方が生み出す面白さに気付き、思いに合った表現をすることができる。 (思) リズムの学習活動を通して、音の面白さに気付くとともに、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。 (学) リズムの学習活動で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	10
	「たのしくコンサートⅠ」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 (思) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
Ⅰ学期授業時数					13

2 学 期	「みんなで演奏しよう！」 (表現「器楽」) ・楽器の演奏の練習 ・友達に合わせることを意識した演奏 ・伴奏に合わせた打楽器や旋律楽器での合奏	①	(知) 拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付き教師や友達と一緒に演奏することができる。 (思) 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学) 友達と演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	12
	「たのしくコンサート2」 (鑑賞) ・たのしくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 特徴的な曲調に気づき、友達や教師と一緒に歌ったり、演奏したりすることができる。 (思) 曲の旋律を自分らしく歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	3
2 学期授業時数					15
3 学 期	「楽器に親しもう」 (表現「器楽」) ・音階や楽器の音色の違いについての理解 ・様々な打楽器や旋律楽器の演奏の体験 ・自由演奏や簡単なリズム打ちの練習 ・伴奏に合わせた演奏	①	(知) 拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付き教師や友達と一緒に演奏することができる。 (思) 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学) 楽器を演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養うことができる。 たりするとともに、器楽に親しむ態度を身に付ける。	グループ 学級	4
	「卒業証書授与式の歌を練習しよう！」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習	①	(知) 曲に使われている特徴的な言葉に気付き、自分の歌声に注意を向け、教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思) 曲の旋律を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	1
	「たのしくコンサート3」 (鑑賞) ・歌唱表現や小合奏の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 (思) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身に付ける。	グループ 学級	2
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型		美術科	①美術「あそびの絵本 えのぐあそび」（岩崎書店）		
目 標	(知) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。				
	(思) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。				
	(学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「Tシャツのデザインをしよう！」 ・技法の理解 ・紙や布を使った技法の練習 ・複数の画像や絵などから図柄の選択 ・デザインの検討、下描き ・技法を用いた模様の描画 ・作品の鑑賞		(知) 道具を自分なりに扱い、Tシャツや画用紙や布に模様を付けることができる。 (思) 技法を使い、デザインを表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。 (学) シャツ作りを通して、技法を使って創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	13
1 学期授業時数					13
2 学 期	「思い出を表現しよう！」 ・写真や映像での振り返り、描画する場面の選択 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いての描画活動（混色の体験を含む） ・作品の鑑賞	①	(知) 色や用具を自分で選び、色を作るなどしながら、経験したことを描くことができる。 (思) 色や感触を感じながら、モザイクタイルを使って表現することができる。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 (学) 楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。	学級	15
2 学期授業時数					15
3 学 期	「紙粘土で作ろう」 ・立体作品（ペン立てなど）の制作 ・粘土の操作（ちぎる、丸める、伸ばす、へらの操作など） ・テーマ、デザインの検討 ・紙粘土を用いての立体表現、着色 ・作品の鑑賞		(知) 手の平やへら、伸ばし棒等の操作しやすい用具を使って粘土を作成したり、型抜きを使って粘土を切り抜いたりすることができる。 (思) 見本を見て作りたいものを選んだり、作品作りの面白さを感じたりする。 他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。 (学) 粘土で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和7年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型		教科等	教科書		
中学部 第1 学年 重複A類型		自立活動			
目 標	学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
Ⅰ 学 期	○健康の保持 （１）生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。 （２）病気の状態の理解と生活管理に関すること。 （３）身体各部の状態の理解と養護に関すること。 （４）障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 （５）健康状態の維持・改善に関すること。 ○心理的な安定 （１）情緒の安定に関すること。 （２）状況の理解と変化への対応に関すること。 （３）障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。 ○人間関係の形成 （１）他者とのかかわりの基礎に関すること。 （２）他者の意図や感情の理解に関すること。 （３）自己の理解と行動の調整に関すること。 （４）集団への参加の基礎に関すること。 ○環境の把握 （１）保有する感覚の活用に関すること。 （２）感覚や認知の特性への対応に関すること。 （３）感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 （４）感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。 （５）認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 ○身体の動き （１）姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。 （２）姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。 （３）日常生活に必要な基本動作に関すること。 （４）身体の移動能力に関すること。 （５）作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。 ○コミュニケーション （１）コミュニケーションの基礎的能力に関すること。 （２）言語の受容と表出に関すること。 （３）言語の形成と活用に関すること。 （４）コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。 （５）状況に応じたコミュニケーションに関すること。 6項目27区分から必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて設定した指導内容		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	299
Ⅰ 学期授業時数					299
2 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	345
2 学期授業時数					345
3 学 期	Ⅰ 学期と同様		個別の指導計画に基づいた個に応じた目標	学級 個別	161
3 学期授業時数					161
総授業時数					805